



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

'96.2.13 No. 4341

労働者定期委員会集おう!

全ての組合員のみなさん!
二月二〇日に開催される第三
五回定期委員会への圧倒的傍聴
を訴えます。

昨年の第二二回定期大会以降
労働千葉は、勝浦運転区廃止攻
撃との闘いに十一月二八日から
の七十二時間ストライキを断固闘
い貫き、JR-JR総連革マル
一体となった勝浦支部破壊=動
労千葉の組織破壊に対してより
強固な団結を打ち固めてきた。
この闘いの成果をさらに発揮す
るために第三五回定期委員会
の闘う方針を打ち立てよう。

『分割・民営化攻撃に
決着をつける年に』

定期委員会がかちとるべき課
題の第一は、最大の正念場を迎
える国鉄闘争勝利に向け、全
ての組合員の総決起体制を築くこ
とである。何よりも、四月一日
をもって「一〇年目」に突入す
る国鉄分割民営化攻撃との闘い
に決着をつける闘いの年と位置
付け、危機に立つJR東日本と
JR総連革マルの結託体制粉砕
をかちとろう。

当面、九六・三ダイ改闘争を、
労働条件と権利を奪い返す新た
な出発点として闘いぬこう。

『日経連報告と対決し
連合を食い破る闘いを』

第二に、「大失業時代」に抗
する労働運動の新たな潮流の本
格的な発展に向けて闘いぬくこ
とである。

歴史の大きな転換点に立って
いるという時代認識をはっきり
させ「よみがえれ労働組合」
「取り戻そう労働者の団結」を
合い言葉に、日経連「労問研報
告」に示される賃金破壊、雇用
破壊、組合破壊そして春闘破壊
攻撃と対決し、完全に屈服し資
本の側に立つ連合を食い破る闘
いを展開しよう。

『六〇年・七〇年越える
安保・沖縄闘争を』

第三に、安保・沖縄闘争=破
防法発動反対を闘いぬくこと
である。

沖縄での昨年一〇月の八万五
千人の決起は、「日米安保」体
制の根幹から揺るがし、日本全
土を巻き込んだ闘いへと発展し
ている。とくに、今年三月三一
日で米軍用地とされてきた土地
の使用契約期限が切れ、四月一
日から米軍による「不法占拠」
状態が発生するなど、九六年は
六〇年、七〇年につぐ新たな安

保・沖縄闘争の始まりの年であ
る。

当面、三月二九日(四月一日
に「沖縄反戦・交流ツアー」を
行う予定となっている。

また、思想・言論・集会・結
社等の自由を侵害する破防法と
の闘いは決定的に重要である。

破防法団体解散条項の適用は、
今の「大失業時代」に抗して闘
う労働運動の発展と、日本中で
うっ積する労働者の怒りの爆発
を封じ込めようとするものであ
る。憲法改悪に直結する破防法
発動に反対する闘いを強化しよ
う。当面、二月二三日の「破防
法反対集会」に結集しよう。

第三五回定期委員会の成功を
かちとろう!

はばたこう!

「沖縄反戦・交流ツアー」
派遣団の募集について

日米安保粉砕!米軍基地撤去!沖縄県民の怒りの決起に
応え、「沖縄反戦・交流ツアー」を取り組むこととします。
ついては、沖縄現地への派遣団を募集しますので、ドシ
ドシ応募下さい。要項については左記のとおりです。

期 間 三月二十九日 出発

四月 一日 帰着

募集期間 三月上旬まで

奮って参加を!